第1号様式・その1(第4条関係)

第162号
受 30.5.-7 付
議会事務局

戸田市議会研修・視察報告書(会派名：戸田の会

30 年 5 月 5 日

三浦　議長　様

報告者氏名　佐藤　太信

実　施　日	平成30年　5月　5日(土)　～　平成30年　5月　5日(土)　　1日	
参　加　者	1　佐藤太信　　6 2　　7 3　　8 4　　9 5　　10　　合計　1　人	
視察先・目的	研修先　国立オリンピック記念青少年総合センター 目　的　研修 1　LGBTについて 2 3 4 5	
宿泊場所	1 2 3	
費　用	宿泊費　0 円	夕食代
	交通費　0 円	昼食代　円
	その他　5,000 円	合計　5,000 円

第1号様式・その2(第4条関係)

戸田市議会研修・視察報告書(会派名：戸田の会　　)

概　　要　　No.　1

【研修先選定理由】

渋谷区と世田谷区が「同性パートナー」制度をスタートさせたことにより各地でLGBT施策が進められている。自治体で取り組めるLGBT施策とは、どのような施策なのか。LGBTの基礎を学ぶこと、当事者の声を聞けるということから当研修への参加を決めた。

【概要】

以下、3人の講師からLGBTの基礎知識、実態を伺う。

・岡山大学教授の中塚氏は、「トランスジェンダー、性同一障害の実像と支援」から医師として性同一障害の治療に関わってきた経験、学校や職場での周囲の反応や環境適応の在り方など現場に関わってきた専門家からの話を伺う。

・宝塚大学教授の日高氏は、社会調査のデータに基づきLGBTの基礎知識を伺う。意識・行動調査などもなされており、エビデンスに基づいた説得力のある情報を教わる。

・高岡商科大学教授の谷口氏は、各自治体の取組み状況について解説いただいた。各自治体の取組み状況を理解することで、研修参加者各々の地域は何から取組むべきなのか、どんな施策が実現しやすいのか。ポイントについて学ぶ。

【今後の展望】

LGBTは、近年になって少しずつ認識はされているものの、なかなか浸透されていないのが実態である。教育分野においては、声をあげにくい環境からカミングアウトできない状況にある人、カミングアウトしたとしても周囲がどう対応してよいかわからないといった状況にある人、様々である。戸田市においても、当事者がスカートではなくズボンを選択することができる学校が出てきた。マイノリティによる孤立あるいはいじめを防止する観点から、こうした環境改善は必要である。多様性を持った方々が住みやすい戸田市であるために何が必要なのか。今後、戸田市の中でもできることを探っていきたい。

第1号様式・その1(第4条関係)

第571号
受 30.8.30 付
議会事務局

戸田市議会研修・視察報告書(会派名：戸田の会)

30 年 8 月 30 日

三浦　議長　様

報告者氏名　矢沢　青河

実施日	平成30年 8月 22日(木) ～ 平成30年 8月 24日(木)　3日	
参加者	1 佐藤太信　6 2 矢澤清河　7 3　8 4　9 5　10　合計 2 人	
研修先・目的	研修先　全国市町村国際文化研修所 目的　研修 1 市町村議会議員研修［3日間コース］地方財政制度の基本と自治体財政 2 3 4 5 6	
宿泊場所	1 全国市町村国際文化研修所 2 3	
費用	宿泊費 4,500 円	食事代 9,300 円
	交通費 49,840 円	
	その他 7,848 円	合計 71,488 円

第1号様式・その2(第4条関係)

戸田市議会研修・視察報告書(会派名：戸田の会　　)

概　　要　　No. 1

(公財)全国市町村国際文化研修所(JIAM)の議員研修「地方財政制度の基本と自治体財政」

1. 地方財政制度の基本　　関西学院大学大学院経済学研究科・人間福祉学部 教授　小西 砂千夫 氏

   概要：地域社会を支える地方財政制度の仕組みについて、地方財政の全体（マクロ）と個々の自治体財政（ミクロ）の関係を中心に 財政制度の基本をお話しいただき、理解を深めます。

2. 意見交換　　小西 砂千夫 氏

   概要：前の時間の講義内容を踏まえ、地方財政に関する日頃からの疑問などについて意見交換をすることにより、参加者の問題 意識を共有し、2日目以降の研修を進めるうえでのポイントを整理します。

3. 自治体財政診断の考え方と手法　　北海道総合政策部地域創生局地域づくり 担当局長　今井 太志 氏

   コーディネーター：小西 砂千夫 氏

   概要：自治体の財政診断の考え方と手法についてお話しいただきます。また、講義の後、質疑と意見交換により理解を深めます。

4. 地方財政のよくある質問　　小西 砂千夫 氏

   概要：臨時財政対策債の返還や経常収支比率など、自治体の財政運営のなかで発生する疑問や課題についてお話しいただき ます。また、自治体の健全な財政運営に努めるために議員・議会が担うべき役割についてお話しいただきます。

5. 財政健全化における川西市の取り組み　　兵庫県　川西市総合政策部長　松木 茂弘 氏

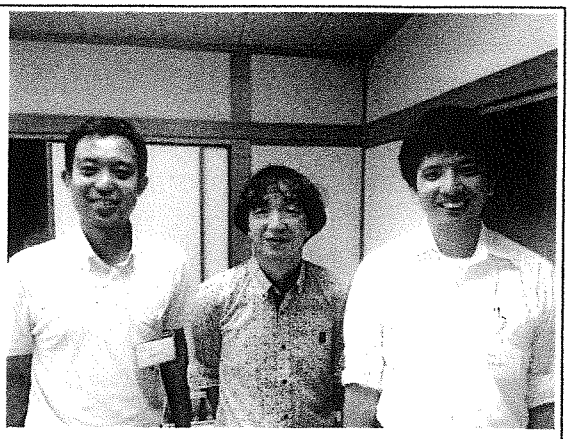
   コーディネーター：小西 砂千夫 氏

   概要：川西市の財政健全化に向けた取り組み、より良い住民サービスにつなげるための施策や、自治体行政運営における 今後の展望等についてお話しいただきます。また、事例紹介の後、質疑と意見交換により理解を深めます。

6. ふりかえり　　小西 砂千夫 氏

   概要：3日間の講義、事例紹介、演習をふりかえります。疑問点や意見などを共有し、さらに理解を深めます。

【所管】



関西学院大学の小西砂千夫教授を始め、元北海道総合政策部の今井太志先生、川西市の松木茂弘先生など、財政の専門家の先生からご教授頂いた。

特に印象が残ったものとして、講義「地方財政のよくある質問」は、「臨時財政対策債は償還可能か？」、「公会計の活用方法は？」、「経常収支比率は８０％が適切か？」などの質問の講義であり、現在、日本の財政状況は峠を越え、良くなってきている。これまで、自治体の会計は固定資産台帳になっていなかったため、新公会計制度を自治体に導入し、行政の見える化を平成 32 年度までに進める。経常収支比率８０％が適正という時代もあったが、現在の総務省の見解は変わり、現在でもそうとは言えないなどのお話があった。また、講義「財政健全化における川西市の取り組み」では、財政健全化に積極的に取り組んでいる川西市の事例をもとに、公共施設の再編計画や土地開発公社や第三セクターが抱える債務の解消と将来リスクの軽減、市立病院の経営改革、学校施設耐震化や市民体育館等整備、学校空調設備における PFI 事業の導入など具体的なお話があった。PFI においては、官民が相互に win-win の関係を構築するためには、最適なリスク配分モデルを設計し、事業リスクを抑えつつ施設の事業価値を最大化を目指さなければならず、現在 PFI を導入している自治体における課題や欠点、ポイントについてお伺いすることができた。

講義の始めに、「地方財政を習得するには、担当課の職員でも５年はかかる。短い期間で理解することは難しい。」とのお話があり、そのお話の通り、今回の研修では専門的な内容に加え、自治体の財政評価の手法や算出法、国の制度改正による地方自治体の今後の対応、それらに対する先生方の見識など、大変密度の濃い講義内容の３日間で、具体的な自治体の例示や、質問にも丁寧にお答え頂き、大変勉強になった。また、全国市町村から地方議員が集まり、情報交換や各々の市町村の財政評価を先生から伺い、戸田市がどのような財政状況か、広域的な視点から理解することができた。

第1号様式・その1（第4条関係）

第739号
受 30.10.-1 付
議会事務局

戸田市議会研修・視察報告書(会派名：戸田の会

H３０年１０月　１日

三浦　議長　様

報告者氏名　浅生　和英

実　施　日	平成30年　9月　27日(木)　～　平成30年　9月　28日(金)　　2日	
参　加　者	1　浅生和英　　6 2　　7 3　　8 4　　9 5　　10　　合計　1　人	
研修先・目的	研修先　地方議員研究会　　会場　ＴＫＰ東京駅八重洲カンファレンスセンター 講習会名　あなたのまちの本当の財政状況を知る 1　決算状況【歳入】 2　決算状況【歳出】 3　決算状況【財政収支】 4　決算状況【財政指標】	
宿泊場所	1	
費　用	宿　泊　費　　円	夕　食　代
	交　通　費　　円	昼　食　代　　円
	そ　の　他　　60,432　円 (研修費60,000+振込手数料432)	合　　計　　60,432　円

第1号様式・その2(第4条関係)

戸田市議会研修報告書(会派名：戸田の会　浅生和英　　)

概　　要　　No. 1

講師は、森裕之（立命館大学政策科学部教授、政策科学博士）氏

はじめに参加者にはそれぞれの自治体における決算カード（平成28年度分）が配られた。内容は国の動向から財政の基本的な用語、決算カード内容の意味についてであった。主に決算カードを見ながら、歳入、税、性質別歳出、目的別歳出、公営事業繰り出し、財政収支、各種財政指標についての講義を受けた。また、夕張市の破綻がどのように起こったかなどの説明を受けた。

世界一わかりやすい財政セミナーと謳うだけあり、全体的な基礎を理解することができた。しかしながら、やはり財政関係は国の基準や、方向性で地方財政も影響を受けるので、定期的な研修などによる情報収集の必要性を理解した。

本市のような地方税不交付団体からの参加者の中は少数だったので、地方交付税の説明など実態に合わない部分もあったが、実際には特別交付税は受けていることから疑問の解消には有意義であった。臨財債の仕組みについては、国の考えや財政担当者の経験・知識の重要性が理解できたこと、そして、業務委託などが増える流れの中、物件費の動向にも注意をする必要があることなども理解でき有意義であった。また、決算カードで気になる点について地方財政状況調査を活用して調査をおこなう方法は大いに有意義であった。

最後に研修を通して、本市においても健全な財務体質を維持し、持続可能な自治体経営を目指すために、歳出においては目的別、性質別にチェックをし、歳入においては特に地方債などの借金の動向などの動向からは目を離せないと感じている。公営事業繰出し額については決算カードだけでは、内容が見えないと感じた。本市における決算カードの統計動向を見る必要性を感じた。個人的な感想になるが、議会事務局、財務部の協力も得て、資料の作成、提出などにより、調査研究をおこない、より深く理解していきたい。

第1号様式・その1(第4条関係)

戸田市議会研修・視察報告書(会派名：戸田の会

第787号
受 30.11.-7 付
議会事務局

30 年 11 月 7 日

三浦　議長　様

報告者氏名　佐藤　太信

実施日	平成30年 11月 5日(月) ～ 平成30年 11月 6日(火)　2日	
参加者	1 浅生和英 2 矢澤青河 3 佐藤太信 4 5	6 7 8 9 10　合計 3 人
視察先・目的	研修先　全国市町村国際文化研修所（JIAM） 目的　研修 1 議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～について 2 3 4 5	
宿泊場所	1 全国市町村国際文化研修所（JIAM） 2 3	
費用	宿泊費 6,750 円	食事代 7,950 円
	交通費 76,740 円	
	その他 7,632 円	合計 99,072 円

第1号様式・その2(第4条関係)

戸田市議会研修・視察報告書(会派名：戸田の会　　)

【概要】

全国地方議員73名の参加者あり。

11月5日（月）

（1）

講義1

「地方自治の現状と議会改革の動向」　早稲田大学名誉教授　北川 正恭氏

内容

・地方議会の役割

住民の声を代弁する。

条例提案や政策提案ができる。

調査や研究に要する政務活動費は必要である。

・議会事務局の強化（人員増・人材育成等）が必要である。

（2）

講義2

「議会改革度調査から見る地方議会」　早稲田大学マニフェスト研究所　事務局長　中村 健氏

内容

・自分の自治体の基礎知識（人口総数など）を確認

・先進議会の議会改革事例

（3）

事例紹介・演習

「住民参加・情報公開を進める取り組み①」

北海道栗山町議会　議長　鵜川 和彦氏

早稲田大学マニフェスト研究所　事務局長　中村 健氏

内容

・栗山町議会の取組

情報公開と住民参加

・議会基本条例前の住民参加の状況

参考人制度の積極的活用、関係者との意見交換

・議会基本条例制定後

住民参加、議会モニター、議会報告会（毎年1回12会場200人以上の参加

11月6日（火）

（1）

事例紹介・演習

「住民参加・情報公開を進める取り組み②」

会津若松市議会　議長　目黒 章三郎氏

早稲田大学マニフェスト研究所　事務局長　中村 健氏

内容

・議会の役割、機能

・市民との意見交換会　地区別に分けて行う。

・議会全体としての活動は重要。

（2）

演習

「各議会における今後の議会改革の検討」

早稲田大学マニフェスト研究所　事務局長　中村 健氏

内容

・演習は小グループ（6名）に分かれて実施した。

・議会の広聴活動のさらなる充実策をテーマに基にグループ内で意見交換を実施。

【所感】

戸田市議会において議会基本条例は制定されているが、議会報告会もなく住民に対しては開かれた議会ではないと感じており、他自治体の状況を学ぼうと本研修を受講した。

現在の議会の役割は、執行権に対する監視とともに、政務活動費を活用し条例提案、政策提案を行うことが求められている。当然のことであるが、議員は住民の声を代弁する役割を担っている。今後、住民の市政に対する信頼をどのように考えていくべきか。地方議会が地域にどのように成果として結びついているのか。議会としての住民に報告を行うことは大切なことであり、住民の意見や要望を議会に届けることによって自分の自治体にあった施策を見つけ出すことができるのではないかと確認することができた。

今回の研修「議会改革を考える」は、他自治体議員と意見交換ができたこと、他自治体の状況を伺えたこと、議会改革における課題や進め方を共有することができたことは大きな収穫である。本研修で学んだことは、今後の議会活動に活かしていくための参考にしていきたい。

第1号様式・その1(第4条関係)

第1192号
受 31.2.-7 付
議会事務局

戸田市議会研修・視察報告書(会派名：戸田の会

H31年　2月　7日

遠藤　　議長　様

報告者氏名　浅生　和英

実　施　日	平成31年　2月　4日(月)　　1日	
参　加　者	1　浅生　和英　　6 2　佐藤　太信　　7 3　矢澤　青河　　8 4　　9 5　　10　　合計　3　人	
研修先・目的	研修先　地方議員研究会　　会場　ＴＫＰ横浜ビジネスセンター 講習会名　予算議会前におさえておくポイント 1　予算議会前におさえておきたいポイント① 2　予算議会前におさえておきたいポイント② 3 4	
宿泊場所	1	
費　　用	宿　泊　費 円	夕　食　代
	交　通　費 4,800（800×3人分×往復）円	昼　食　代 円
	そ　の　他 130,432円（30,000×３人分+通訳40,000＋振り込み手数料432)	合　　計 135,232　円

第1号様式・その2(第4条関係)

戸田市議会研修報告書(会派名：戸田の会　浅生和英　　)

概　　要　　No. 1

講師は、森裕之（立命館大学政策科学部教授、政策科学博士）氏

まず、国の平成３１年度予算を確認し、国と行政の事務分担を軽く確認することで地方行政の権限でどこまでできるのかなどを確認した。分担が進む一方でそれらが重層的に関係していることを把握した。複雑であるので定期的に確認をする必要がある。

そして、国・地方間の財源配分や、地方歳入決算の内訳を見ながら、地方譲与税・国庫支出金・地方債など地方財政の仕組みを確認した。本市は地方交付税を受けていないことも特徴的であるが、その市区を理解しておく必要があるので有意義であった。全国的には、租税が平均で４割弱に過ぎず、残りを地方交付税・国庫支出金・と地方債でまかなっている。地方債の償還については地方税などにより支出していることなどを考えると特定財源の動向は、自治体財政への影響を左右すると考えられ、重要である。民生費の増加傾向からも目を離せない。

ＰＦＩについては、事業者の借入金の方が、地方債よりも金利が高くなること。委託費にＰＦＩ事業者の利益が含まれるということからＰＦＩの活用については推奨しないということであったのは印象的であった。収益事業をやってもらうことで委託費を減らすことも考えられるが、議会としては金銭的なことだけではなくその事業者の永続性や、社会的な観点から見極める必要があり、議論の重要性を理解でき有意義であった。

骨太の方針については、いくつかのキーワードを挙げておく。地方自治体間の連携、広域的な経済圏、コンパクトなまちづくり、シェアリングエコノミー、行政・起業・ＮＰＯによる協働（コレクティブインパクト）など、人口減少社会を見据えた政策が国に沿ったものである。しかしながら、住民の経済的負担を考えると、戸田市が水道事業や（保険事業）などで広域的な経済圏を考えて、政策展開をしていくことは現時点では時期尚早に感じる。ＩＴ技術だけは、早急に広域化を図り各システムにかかる費用を削減していく必要がある。

最後に、財政問題を抱える新潟市と阪南市の実質収支と実質単年度収支の動向グラフはとても興味深いトピックであった。本市においてもチェックをするべき項目だった。予算議会での自治体議員が指摘する視点なども今後の議員活動に活かして参りたい。